



取扱説明書

RIMX
【リミックス】

VD

各部・パーツ名称

RMX VD/R

スライドウェイト

シャフト固定ネジ

スリーブ



各部・パーツ名称

RMX VD/M

スライドウェイト

シャフト固定ネジ

スリーブ



各部・パーツ名称

RMX VD/X

ウェイト

シャフト固定ネジ

スリーブ



ヘッドカバー
付属品



Made in CHINA

ヤマハ純正トルクレンチ
¥2,200 (税込)
別売り



ヤマハ純正トルクレンチをお持ちでないお客様は、ヤマハゴルフ用品お取り扱い店にてお買い求めください。

他メーカーのトルクレンチ、及び購入から5年以上経過したトルクレンチにつきましては、安全のため使用しないでください。

Made in TAIWAN

RMLX
【リミックス】

操作方法

スリーブの説明



STD



UPRT

■スリーブポジションによる角度調整

	STD					UPRT		
	-2	-1	STD	+1	+2	+1	UPRT	-1
ロフト角(°)	-2	-1	0	+1	+2	+1	0	-1
ライ角(°)	+1.5	+0.5	0	+0.5	+1.5	+2.5	+3	+2.5

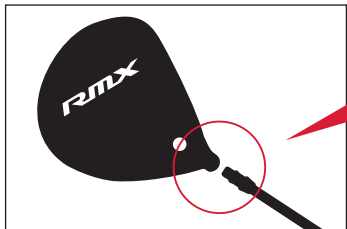
※ 2024年モデル以降のスリーブは2022年以前のヘッドには装着できません。

※ スリーブの交換は製品の安全性確保のためお受けできません。

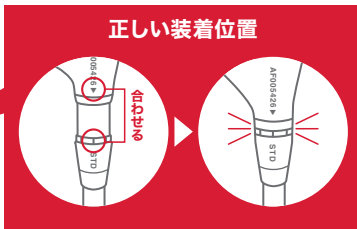
スリーブ取り付けの説明

ホーゼルへのスリーブの挿し込み方でロフト角、ライ角を調整することが可能です。

球のつかまり具合・上がり具合を、お好みのフィーリングに合ったポジションをお選びいただけます。



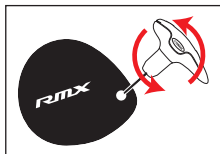
お好みのロフト角/ライ角の文字位置が手前に来るようにして挿し込んでください。



ヘッドのネック部分の▼とスリーブの印を合わせて挿し込んでください。

ロフト角 / ライ角 / シャフトを変える手順

- ① シャフト固定ネジのネジ穴の形状に合わせて、ヤマハ純正トルクレンチの先をまっすぐに挿し込みます。
- ② クラブヘッドをしっかり支え、ヤマハ純正トルクレンチでシャフト固定ネジを時計回りとは逆に回転(約10回転)させて、スリーブのついたシャフトを外します。
- ③ 選択したスリーブポジションをホーゼルに印された矢印に合わせます。
- ④ スリーブの付いたシャフトを、ホーゼル内で突き当たるまで挿し込みます。
- ⑤ ヤマハ純正トルクレンチを用いて、ヒール側のシャフト固定ネジを時計回りに締め付け、スリーブをヘッドに装着します。その際、シャフト固定ネジは、完全に取り付けられたことを知らせる「カチッ」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかり締め付けてください。



スリーブを外す：
シャフト固定ネジを時計回り
と逆に回転させる。

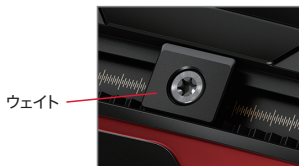


スリーブを締め付ける：
シャフト固定ネジを時計回り
に回転させる。

※ ヤマハ純正トルクレンチは、スリーブの固定に必要なトルク量でシャフト固定ネジを締め付けることができる、過剰締付自動防止機能を備えています。

弾道調整について (RMX VD/R・M)

ウェイトの位置を変更することにより、重心位置を調整し、ボールのつかまり具合や上がり具合を調整することが可能です。



トゥ側

ヒール側

■ ウェイト位置と重心位置の変化について

RMX VD/R	
ウェイト位置	トゥ側 ←→ ヒール側
重心距離	39mm ←→ 35.5mm
RMX VD/M	
ウェイト位置	フェース側 ←→ バック側
重心深度	39mm ←→ 43mm

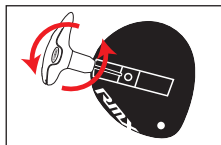
※ 重心位置はヤマハ測定方式の値です。測定方法により数値が異なる場合があります。

■ 注意

- ※ 締め付けが不完全な場合、ウェイトが緩むことがあります。固定した後もウェイトを手で動かして、完全に固定されていることを確認してからご使用ください。
- ※ ウェイトのネジを緩めすぎると外れる場合があります。**絶対に分解しないでください。**
- ※ ウェイトが外れてしまった場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問合せください。

弾道調整の方法 (RMX VD/R・M)

- ① ウェイトのネジ穴の形状に合わせて、ヤマハ純正トルクレンチの先をまっすぐに挿し込みます。
- ② クラブヘッドをしっかり支え、ヤマハ純正トルクレンチを時計回りとは逆に回転(約3回転)させて、ネジを緩めます。
- ③ ウェイトを希望の位置に移動させた後、ヤマハ純正トルクレンチを時計回りに回転させてネジを締め付け、ウェイトを固定します。その際、完全に固定されたことを知らせる「カチッ」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかり締め付けてください。さらに、ウェイトを手で動かし、完全に固定されていることを確認してからご使用ください。



ネジを緩める：時計回りと逆に回転させる。



ネジを締め付ける：時計回りに回転させる。

■ 注意

- ※ ウェイトとレールのギザギザ部が、しっかりとかみ合っていることを確認してから、ウェイトを固定してください。
- ※ ウェイトのネジを緩めすぎると、ウェイトが外れる場合があります。**絶対に分解しないでください。**
- ※ ウェイトが外れた場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問合せください。
- ※ ウェイトは、特定のトルクまで締め付けることにより、完全に固定できるように設定されています。またヤマハ純正トルクレンチは、ウェイトの固定に必要なトルク量で締め付けることができる、過剰締付自動防止機能を備えています。
- ※ ウェイト、及びレール部分に**汚れや異物が付着した状態で、ネジを締め付けしないでください。**十分に固定できず、破損する恐れがあります。

弾道調整について (RMX VD/X)

センターポジション以外に3つのウェイトポジションを搭載。ボールのつかまり具合を調整することが可能です。



■ ウェイトポジションと重心位置の変化について

ウェイトポジション	FADE	HIGH MOI	CENTER	DRAW
重心角 (°)	22	27.5	30	29.5
重心深度 (mm)	38.5	43	43.5	40.5
慣性モーメント (g・cm ²)	5669	5818	5704	5306

※ 重心位置はヤマハ測定方式の値です。測定方法により数値が異なる場合があります。

■ 注意

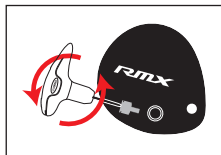
※ 締め付けが不完全な場合、ウェイトが緩むことがあります。固定した後もウェイトを手で動かして、完全に固定されていることを確認してからご使用ください。

弾道調整の方法 (RMX VD/X)

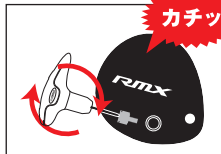
ウェイトをウェイトポートから取り外すには、ヤマハ純正トルクレンチの先をウェイトの星型の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。片手でヤマハ純正トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながらウェイトを時計回りとは逆に回転させてください。ネジが緩みウェイトが完全に外れたら、ウェイトポートから取り出します。

ウェイトをウェイトポートに取り付けるには、ヤマハ純正トルクレンチを用いてウェイトを時計回りに回転させ、ウェイトをウェイトポートに装着してください。完全に取り付けられたことを知らせる「カチッ」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。

- ※ ウェイトは、特定のトルクまで締め付けることにより、完全に固定できるよう設定されています。またヤマハ純正トルクレンチは、ウェイトの固定に必要なトルク量で締め付けられる、過剰締め自動防止機能を備えています。



ウェイトを緩めるには、時計回りと逆に回転させてください。



ウェイトを締め付けるには、時計回りに回転させてください。

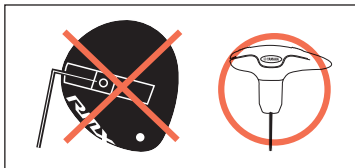
注意事項

- 注意：ウェイトの取り扱いについて
- 注意：スリーブについて
- 注意：カーボンクラウンについて
- 注意：ネジの損傷を防ぐために
- 注意：安全にご使用いただくために

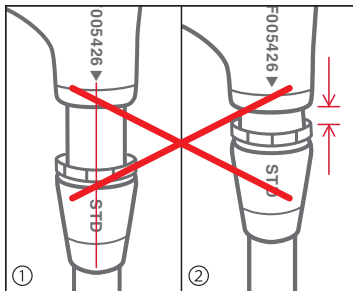
■ 注意：ウェイトの取り扱いについて

ウェイトは使用方法を誤りますと、**重大な事故につながる可能性があります**。必ず下記の注意を守ってください。

- ① スライドウェイトのネジを緩めすぎると外れる場合があります。また、いかなる場合も**ウェイトは絶対に分解しないでください**。万が一スライドウェイトが外れてしまったり、ウェイトを分解してしまった場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問合せください。
- ② ウェイト部のネジ山を研磨したり、やすりをかけるなどの**改造や変更を決して行わないでください**。適切な装着が妨げられ、ウェイトがスイングの最中に外れる可能性があります。
- ③ 調整には必ず**専用のトルクレンチをご使用ください**。



■ 注意：スリーブについて

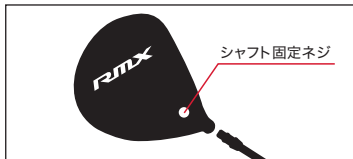


誤った装着位置

- ① ヘッドのネック部分の▼とスリーブの印が直線状に並んでいなければ、誤って装着されている状態です。
- ② スリーブとホーゼルの間に段差や隙間があってはいけません。

※ 正しく装着されていない場合はネジが締められません。

シャフトとヘッドの装着について



シャフト固定ネジを無理に取り外さないでください。

※ シャフト固定ネジがヘッドから外れてしまった場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問合せください。

スリーブからシャフトを抜かないでください。スリーブを分解しないでください。

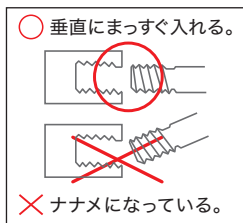
■ 注意：カーボンクラウンについて

カーボンクラウンは素材の特性上、過度の加熱により品質が劣化し、破損の原因になることがあります。**ストーブやバーナーなど熱源の近くには置かない**てください。

■ 注意：ネジの損傷を防ぐために

ネジ山とネジ溝の損傷を防ぐため以下を守ってください。

取り付け作業時にネジ山とネジ溝がまっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。



■ スリーブ取付時の注意



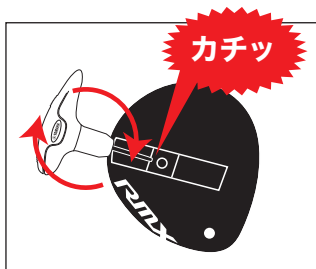
シャフトが地面と垂直になるようセットしネジが傾いていないことを確認してください。レンチは写真のように指先で軽く持ち、ネジの軸がズレないように回転させてください。この時強い抵抗があれば、すぐに締め付けを中止し、ヤマハゴルフへ検査依頼をしてください。



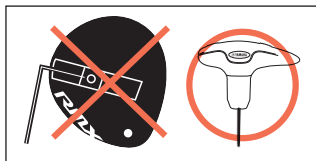
ネジが最後まで締まったら、レンチを持ち替え「カチッ」と音がするまで締めつけ、固定をしてください。

■ 注意：安全にご使用いただくために

取り付けの際は、シャフト固定ネジやウェイトが完全に取り付けられたことを知らせる「カチッ」というヤマハ純正トルクレンチの音が聞こえるまで、締め付けてください。また締め付け後には、完全に固定されていることを確認してからご使用ください。



シャフト固定ネジやウェイトを締め付けるには、時計回りに回転させます。



星型のネジ穴がつぶれたり、接続部分が破損したりすることを避けるために、ヤマハ純正トルクレンチ以外の工具による取り付けや取り外しは行わないでください。

プレーまたは練習の前には、必ず「カチッ」となるまで締め直し、スリーブやウェイトが正しく装着されていることをご確認ください。

スリーブがホーゼルに、ウェイトがレールやポートに適切に装着されていないままクラブを使用した場合、次のような恐れがあります。

- スリーブはホーゼル、ウェイトはレールやポート、それぞれに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドやウェイトが外れる可能性があります。その結果、ご自身や周りにいる方が負傷する恐れがあります。
- 土、ほこり、液体などの異物がスリーブのネジ穴、ホーゼル内部、レールやポート、ウェイトのネジの隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があり、スリーブやウェイトの固定を困難あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼル、ウェイトに損傷が生じる恐れがあります。

これらの注意事項が守られていない場合に起きた破損や不具合については、クラブ保証が適用されません。

保管方法・お手入れ

- スリーブのネジ穴、ホーゼル内部への異物侵入を防ぐため、各パーツを正しく装着したまま保管してください。
- クラブヘッドのお手入れ時、またはその他のいかなる場合においても、ホーゼル、スリーブのネジ穴、レールやポート部分等に液体が侵入しないよう注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、スリーブが全て装着されていなければなりません。
- スリーブの取り外しと取り付け、ウェイトの調整は、異物が空のホーゼルやスリーブ、レールやポート部分に侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたりしたスリーブやウェイトはそのまま装着せずに、乾いた柔らかな布などで完全に拭き取ってからご使用ください。
- ホーゼル穴の中に異物が入った場合は、クラブヘッド内部に異物が落ちないように、きれいな布などで取り除いてください。

ゴルフ規則について

RMX(リミックス)ドライバーは、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を順守しています。しかし、ラウンド中におけるRTSスリーブや弾道調整機構のセッティングを途中で再調整する行為は、規則第4.1a(3)「ラウンド中にクラブの性能特性を故意に変えること。」という規定に抵触し、ゴルフ規則の順守不履行とみなされます。

ゴルフを安全に楽しむために

ゴルフクラブの使い方、手入れ方法や保管方法など、内容を正しく理解してください。下記の「警告」や「注意」事項を必ず守っていただき、安全で快適なゴルフライフをお楽しみください。



してはいけない禁止行為を示しています。



守っていただくべき義務行為を示しています。

(社) 日本ゴルフ用品協会 統一取扱説明書 (平成18年作成)

警告



各部に異常がないか必ず確認

クラブを使用する前には、シャフト、ヘッドのヒビ割れ、シャフト接着のゆるみ、ビスの浮き、グリップのゆるみなど、各部に異常がないことを必ず確認してください。けがの原因となることがあります。



自分にマッチしたクラブの使用

力が強く、体力のある方がシニア向け、レディース用やジュニア用のクラブを使用すると、破損し、けがの原因になることがあります。自分の体力や技量にマッチしたクラブを使用してください。※クラブの破損は、販売店にご相談ください。



❗ スイング時は周囲の安全を必ず確認

スイングする場合は、人、樹木、建造物などに触れないよう、周囲の安全を必ず確認してください。人に当たると死亡やけがの原因になります。また、道路や公園など、人通りのある場所では絶対に使用しないでください。※長尺仕様のモデルは、特に注意してください。



❗ 打撃は必ず適切なものを使用

ゴルフボールや打撃練習器具以外のものは打たないでください。また、コンクリートやアスファルト、石など、硬いものの上では打たないでください。けがやクラブ破損の原因になります。



❗ 落雷は早めに避難

ラウンド中や屋外で使用時、雷が鳴りはじめたら、クラブを体から遠ざけて、なるべく早く安全な場所に避難してください。カーボンシャフトやスチールシャフトは電気を通すため、感電する危険があります。



❗ 消耗したグリップは早めに交換

表面がツルツルになったり、スリ減ったり、ヒビ割れたグリップは必ず取り替えてください。スイング中、クラブが手から滑り抜けて、人に当たる危険があります。また、異常を感じた場合は、早めに取り替えてください。



⊘ パターでのショットは危険

パターは、グリーン上でのパッティングやグリーン周辺からのアプローチ用に設計されていますので、それ以外では使用しないでください。特に、ショットをするとシャフトが折れて、クラブ破損やけがの原因になります。



❗ 強い衝撃の後は必ずチェック

インパクト時に、強いダフリ(地面への打撃)をしたときは、ネック部やシャフトに異常がないか必ず点検してください。そのまま使用するとシャフトが折れて、けがの原因になることがあります。また、樹木や建造物、石や金属などで衝撃を受けた場合も、必ず点検してください。

注意



❗ アジャスタブル機能は正しくセットして安全確認

ラウンドおよび練習前には必ずヘッドとシャフトまたはウェイトが正しく装着されていることと、ネジに緩みがないことをご確認ください。適切に装着されていない場合、スイング中にネジが緩み外れる可能性があり、ご自身や周りの人が負傷するなど、重大な事故を引き起こす恐れがあります。また、チューニングする際は、ネック内やネジ穴などに異物が入らないようにご注意ください。クラブを保管する際は、パーツを正しく装着した状態で保管してください。分解したままにするとパーツを紛失したり、破損の原因になる場合があります。



⊘ ネックの打撃は破損の原因

極端なヒールショットやネック打ちは、シャフトやヘッドが破損する原因になることがあります。特に、金属ヘッドのネック打ちは、ネック部の曲がりやシャフト折れの原因となります。



⊘ クラブを大切に

クラブを踏みつけたり、たたきつけたりせず、取り扱いには注意してください。また、クラブを杖代わりに使用したり、重いものを乗せたり、ぶら下がったりすると、破損やけがの原因になります。



⚠ クラブを保護しヘッドのキズや割れに注意

ウッドクラブは、ヘッドカバーを使用して、ヘッドにキズがつかないように注意してください。また、大型ヘッドのドライバーは、素材の肉厚が薄くなっていますので、割れや凹みが生じることがあります。使用されない時は必ず、ヘッドカバーを装着してください。



⊘ シャフトの折れ口は、けがに注意

シャフトが破損した場合は、折れ口には絶対に触れないでください。切りキズや刺しキズを負う危険があります。特に、カーボンシャフトの繊維は刺さりやすいので注意してください。破損箇所はテープや布などで保護し、シャフトを早めに取り替えてください。



⊘ 無理な負荷は破損の原因

シャフトの硬さや調子を調べるために、過度の力で曲げたり、ねじったりしないでください。シャフトが破損する場合があります。



❗ シャフトのキズは早めに交換

シャフトを踏みつけたり、衝撃によりキズがついた場合は、早めに交換してください。たとえ小さなキズでも、そのまま使用を続けるとシャフトが折れ、けがの原因になります。



❗ キャディバッグからの出し入れに注意

キャディバッグからクラブを出し入れする場合は、クラブに強い力がかからないように注意してください。また、クラブの入ったキャディバッグの転倒には、特に注意が必要です。



❗ クラブの搬送はキズに注意

クラブを搬送する場合は、すりキズや打ちキズがつかないように、キャディバッグを利用するなど、包装に注意してください。

**ゴルフクラブを湿気、サビなどから守るために、
使用後は必ず手入れをしてください。**

クラブヘッドのお手入れ方法

- クラブのフェース面、ソールなどに付着した砂、泥、芝などをブラッシングにより落とします。
- 乾いた布で細かな汚れや水分をふき取ります。
- 市販のオイル、クリーナーをムラなく塗ります。
- 仕上げに乾いたきれいな布で磨いてください。

軟鉄

ヘッド表面には、メッキ加工を施していますが、ソフトな軟鉄素材を活かすために、きわめて薄い膜厚になっています。強酸性やコンパウンド(研磨剤)入りのサビ取り剤やクレンザー、スチールワールなどは使用しないでください。ヘッドの表面をキズつけ、サビの原因になります。

金属(チタン、メタルなど)ヘッドの塗装

金属ヘッドの塗装は、芝の摩擦やボールや砂との衝撃により、塗装が摩耗したり、剥げ落ちることがあります。ヘッド本体にキズがない限り、破損の原因にはなりません。研磨剤を含まないメタルヘッド専用クリーナーを使用してください。

特殊メッキ/IP(イオンプレーティング)等

やわらかい打球感を重視した表面仕上げを施しており、従来のニッケルクロムメッキに比べ、表面硬度が軟かく、膜厚も薄くなっています。そのため、すりキズ、当たりキズがつきやすく、また、特有の変色やサビなど、表面変化が起こりやすいため、強酸性や研磨剤の入ったサビ取り剤は絶対に使用しないでください。

また、IP加工部の再修理は対応できません。傷等防止のため、金属ブラシなどは使用しないでください。

カーボン

素材の特性上、過度の加熱により品質が劣化し、破損の原因になることがありますので、ストーブやバーナーなど、熱源の近くには置かないようご注意ください。

チタン、ステンレス、アルミ、銅合金

水分や汚れが付いたまま保管したり、車のトランクなど湿気の多い場所に長時間放置すると、サビや腐食が発生する場合があります。塗装していない部分は、サビ取り剤で軽く磨いてください。

シャフト

- ① 乾いた布で付着したホコリ、泥、汚れを拭き取ります。
- ② 市販のオイル、クリーナーをムラなく塗ります。
- ③ スチールシャフトのサビ防止のために、ご使用後は乾いた布で細かな汚れや水分を十分拭き取ります。特に雨天時使用後は、キャディバッグから出して、風通しの良い場所で陰干しをしてください。

ラバーグリップ

- ① 乾いた布で付着したホコリ、泥、汚れを拭き取ります。
- ② 日陰で自然乾燥させてください。

雨の日のプレー後

- ① 乾いた布で水分をよく拭き取った後、風通しのよい場所で、陰干しをします。
※ キャディバッグからクラブを出し、ヘッドカバーは外します。
- ② 完全に乾いてから、手入れしてください。

クラブの保管方法

- 高温、多湿の場所は避けてください。
- 車のトランクの中や直射日光の当たる場所には、長時間置かないでください。
- 火気に近付けないでください。
- 子供が取り出してむやみに振り回さないように、保管管理してください。
- 物が落下したり、倒れてこない場所に保管してください。

修理方法

ご自身での修理は、安全上の問題が生じます。修理の際は、必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。また、転居、贈答品など、お買い上げ販売店にご相談できない場合は、ヤマハゴルフまでご連絡ください。

改造について

全体・一部に関わらず、クラブは絶対に分解や改造を行わないでください。クラブを改造された場合は、メーカー保証対象外となり、責任は負いかねます。

《お問合せ先》

ヤマハ株式会社 ゴルフHS事業推進部

〒435-8567 静岡県浜松市南区青屋町 283

商品に関するお問合せは、下記フリーダイヤルまで

ヤマハゴルフお客様ダイヤル

 **0120-808-562**

10:00～17:00 (土・日・祝を除く)

※この取扱説明書に表示する数値は設計値であり、実測値と若干異なる場合があります。

※この取扱説明書に使用されている写真や図はイメージです。実際の商品とは異なる場合がありますのでご注意ください。